

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330611132	キッズイングリッシュ I	伊藤佐衣子			1	選択	1前期

**科目の概要**

本科目はDP②にある、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができるようになるための科目として設定されている。現在、グローバル化が著しい社会を生きる子どもたちにとって、「文化の多様性に配慮したコミュニケーション力」は必要不可欠であるといえ、あらゆる場面でグローバル人材を育成できる指導者の需要が高まっている。また、どのような立場になっても、指導者として自信を持って効果的な英語4技能（読む・聞く・話す・書く）の教育ができるように、様々な活動を実際に体験し、指導者自身の「グローバル社会におけるコミュニケーション力」の向上にも焦点を当てる。さらに、現場ですぐに使えるアクティビティの引き出しを増やしなが実践的スキルを身に付ける。イギリスにおいて初等英語教育を学び、幼児に英語教育を行った経験を活かし、グローバル人材を育てる英語教育を即実践できる指導者を育成する授業を行う。

学修内容	到達目標
① 英語教育を通して、グローバル人材の育成をしているという認識を持つ ② グローバル人材育成のための英語指導法と理論を学ぶ ③ 英語習得には国語の連携が不可欠であることを理解する ④ 暗記、音読、ワーク、絵本の読み聞かせ、ゲームのための指導力を身に付ける	① 短期目標と長期目標の二つの視点を持てる人材を育成する指導ができる ② 目標に合った英語指導法を実践することができる ③ 「英語を身につけるための日本語」を理解したうえで、英語指導ができる ④ 効果的な暗記、音読、ワークのための教材を作ったり、絵本、ゲームを使った指導ができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	効果的な授業実践のために必要な情報を自ら収集することができる
	働きかけ力	
	実行力	目標達成のために粘り強く最後まで取り組むことができる
考え抜く力	課題発見力	自らの実践を振り返り、必要な課題を考えることができる
	計画力	
	創造力	より効果的な教育活動にするために、アクティビティややり方を工夫することができる
チームで働く力	発信力	ペアまたはグループワークにおいて、自分の意見や考えを適切な方法で伝えることができる
	傾聴力	講義や発表を聞いてポイントをまとめることができる グループ活動で他者の意見に耳を傾けることができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自己判断で行動せず、授業内の規定を守ることができる
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：「英語ぐんぐんニャードリル」 講談社

参考文献：毎回の授業内で適宜指示する、また効果的な成果発表のため、以下を参考に学修を進めること。  
<https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/index.html>

**他科目との関連、資格との関連**

「キッズ・イングリッシュ I」は、ライフ開拓領域の科目で、キッズ・イングリッシュ II の基礎となる

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に活動し実践しながら必要なスキルを習得します</li> <li>臆せず楽しい気持ちで取り組んでください</li> <li>授業実践に必要な英語運用力をつけられるよう、英語学習を積極的に進めてください</li> <li>やり方等が分からない場合は、いつでも助言、学習のサポートをしますので相談してください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく受講してもらうことは歓迎ですが、授業に集中すること</li> <li>講義と関係のないこと(例：講義と関係のない私語・携帯電話の使用、他の講義の課題を行うなど)は禁止する</li> <li>※授業に参加していないと判断した場合は、欠席扱いとします</li> <li>テキストは必ず用意し、配布した資料は整理してまとめておくこと</li> <li>欠席等でプリントがない場合は、友達にコピーさせてもらう、教員までメール連絡して依頼する等、事前に手に入れて授業に臨むこと</li> <li>20分以上の遅刻は欠席扱い、3回の遅刻は1回の欠席扱いとなります</li> <li>遅刻した時は、必ず理由を説明してから着席すること</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		30	①	✓	①成果発表のリフレクションペーパー 1枚30点で平均値を成績とする。 以下の観点を踏まえて総合的に判定する 1. 指導者としての視点でコメントできている 2. 自らの実践を成果発表の評価観点を踏まえて、振り返ることができている 3. 自らの課題を見つけ、今後必要な学習事項が書かれている  平常評価でのPisa型学力の評価方法 知識の獲得（講義およびグループワークにて、目的に合った英語指導法の習得）：30% 知識の活用（グループによる成果発表にて、習得した英語指導法の実践）：40% 知識の解決（成果発表の実践およびフィードバックにて、獲得した指導法の問題点や新たな発見について改善を提案できる）：30%
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			60	①	✓	成果発表（3回）20点×3回 以下の観点を踏まえて総合的に判定する 1. 自信をもって、積極的に指導できているか 2. 声、動き、語りかけなどが適切か 3. 分かりやすく子どもが楽しめるか 4. 目的に合ったアクティビティになっているか	
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）準備を怠らず、必要な情報を自ら収集できる （実行力）目標達成のため努力できる （課題発見力）自己と集団の課題を発見できる （創造力）発表の仕方を工夫できる （発信力）相応しい方法で意見を伝えられる （傾聴力）講義や発表を聞き自分の考えを持つことができる。 （規律性）自己と集団の学びに資するためにルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（優）授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で90%以上の得点ができる A（秀）授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で80%以上の得点ができる	B（良）授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で70%以上得点できる C（可）授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で60%以上得点できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション(授業の進め方・テキストの使い方・自己紹介など) ・英語教育を通じた、グローバル人材育成とは	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・積極的に自己紹介ができる ・グローバル人材育成の必要性を理解し説明することができる	(予習) ・簡単な自己紹介ができるように自己分析をして練習しておく  (復習) ・グローバル人材育成の重要性を指導者として理解し、効果的な授業ができる工夫をリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	・音読、暗記法など実践的な英語習得(読む・聞く・話す・書く)に必要な指導法を知る	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・シャドーイング・オーバーラッピングなどの音読・暗記法の具体的な指導方法と効果、また短文・長文・リスニング・スピーキングの指導方法と効果を理解し説明することができる	(予習) ・テキストをよく読んでおく(特に6ページ～11ページ)  (復習) ・実際にテキストのユニット問題に取り組む	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	・シャドーイング・オーバーラッピングや、短文・長文・リスニング・スピーキングを、効率的にこどもが学習できる指導方法を身につける  ・成果発表に向けて指導法を選定する	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・実践的な英語習得のための、効果的な指導方法を覚え、積極的に教えることができる ・積極的に指導方法の練習に参加し、身につける努力ができる ・グループで発表に向けて練習する ・発表を振り返り、良かった点、改善点などを挙げるができる	(予習) ・テキストや動画等を参考にしながら、正しい指導法を用いて教えられるよう練習する  (復習) ・音読・暗記に関する指導法や効果をもとめ、成果発表に向けてテキストや動画等を参考にしながら練習をする ・発表を振り返り、良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	・成果発表(音読・暗記法、短文・長文・リスニング・スピーキングの指導方法)前半グループ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・実践的な英語習得のための、効果的な指導方法を覚え、積極的に教えることができる  ・発表を振り返り、良かった点、改善点などを挙げるができる	(予習) ・テキストや動画などを参考にしながら、正しい指導法を用いて教えられるよう練習する  (復習) ・発表を振り返り、良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	・成果発表(音読・暗記、短文・長文・リスニング・スピーキング)後半グループ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・実践的な英語習得のための、効果的な指導方法を覚え、積極的に教えることができる  ・発表を振り返り、良かった点、改善点などを挙げるができる	(予習) ・英語教育に使われる代表的な絵本を調べておく  (復習) ・発表を振り返り、良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・絵本の活用方法と効果について学ぶ ・代表的な絵本を知る	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・絵本の活用方法と効果について説明できる。 ・代表的な絵本を挙げるができる。	(予習) ・成果発表(絵本・読書)に向けて絵本を選定する  (復習) ・絵本の活用方法と効果についてリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・成果発表(絵本・読書)に向けてグループで練習する	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・積極的にグループ活動に参加し、成果発表(絵本・読書)に向けて準備することができる	(予習) ・成果発表(絵本・読書)に向けて、動画等を参考に練習する  (復習) ・グループ活動で決めたことをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	成果発表(絵本・読書)前半グループ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・こども役の聴衆とやり取りしながら、楽しく読み聞かせができる	(予習) ・成果発表(絵本・読書)に向けて、動画等を参考に練習する  (復習) ・発表を振り返り、良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	成果発表(絵本・読書)後半グループ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・こども役の聴衆とやり取りしながら、楽しく読み聞かせができる	(予習) ・英語教育に使われるゲームを、自身の経験や本、インターネットから調べておく  (復習) ・発表を振り返り、良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・英語教育に使われるワークやゲームの活用方法と効果について知る	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・英語教育に使われるワークやゲームの活用方法と効果について説明できる	(予習) ・ゲームの種類ややり方を本やインターネットなどで調べておく  (復習) ・ワークやゲームの活用方法と効果についてのポイントをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・ワーク・ゲームを体験する	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・実際にワークやゲームを体験し、やり方を知る ・ワークやゲームに積極的に参加し、指導者目線でゲーム活用についてコメントできる	(予習) ・成果発表(ワーク・ゲーム)に向けて、準備をする  (復習) ・体験したワークやゲームについて指導者の視点からリフレクションペーパーにポイントをまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・成果発表(ワーク・ゲーム)の準備	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・成果発表(ワーク・ゲーム)に向けて、積極的にグループ活動に参加し準備を進めることができる	(予習) ・成果発表に向けて練習、準備をする  (復習) ・グループで決めたワーク・ゲームや分担、必要な教材・教具などをまとめる ・成果発表に向けて練習する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	成果発表(ワーク・ゲーム)前半グループ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・ワークやゲームの目的を明確にし、こども役の状況を把握しながら楽しくゲームを進めることができる。 ・他グループの発表を観察し、良い点、改善点を指摘できる	(予習) ・成果発表に向けて練習、準備をする  (復習) ・発表を振り返り、指導者の視点から良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	成果発表(ワーク・ゲーム)後半グループ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・ワークやゲームの目的を明確にし、こども役の状況を把握しながら楽しくゲームを進めることができる。 ・他グループの発表を観察し、良い点、改善点を指摘できる	(予習) ・今までの成果発表で用いた指導案とリフレクションペーパーに眼を通しておく  (復習) ・発表を振り返り、指導者の視点から、良かった点、改善点などをリフレクションペーパーにまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ	オンデマンド配信	・講義を振り返って、レポートをまとめることができる。	(復習) リフレクションペーパーの作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力